

3 (水)

救い主を拝む

マタイによる福音書二章一〜12節

家に入ってみると、幼子が母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。(11)

救い主誕生の喜びの知らせを聞きながら、多くの人々が不安を感じる中で、東からきた博士たちは違いました。占星術をしていた彼らは星の動きから救い主の誕生を知り、何千キロもの道のりをかけ、救い主のもとへやってきました。彼らは幼子イエスを探し当てると、その御前にひれ伏して拝みました。救い主から何か良い物をもらおうとしたわけではありません。反対に、自分たちの宝を惜しげもなく献げたのです。神が与えてくださった御子キリストという最高の贈り物を前にして、彼らも自分たちの最も大切なものを献げたのです。これこそ、真の礼拝者の姿です。私たちもこの博士たちの真摯な姿にならう者でありたいと願います。母に抱かれた幼子イエスを見ただけの博士たちに対して、私たちは全ての人の罪のために十字架にかかり、復活されたキリストを知っているのですから。